



孟蘭盆会法要

圓頓寺 たより

第三十四世

順境院 日攝

年頭のご挨拶

合掌。新年おめでとうございませう。旧年中は、檀信徒並びに有縁の各位には、当山の護持にご尽力を賜り、

感謝申し上げます。本年も、どうぞ宜しく御願ひ申し上げます。

法華経の道場であります当山を護持していくことは、住職の大きな責務であります。開創以来およそ四百年に至る御題目の祈りの積み重ねを大切に思い、今年一年も精進していく所存であります。

さて、旧年中のことではありますが、大変喜ばしいことがありました。当山墓地の整地が進んだことです。六月の合同大掃除の際、墓地の通路や空地に、砂利を隅々までひきつめ、景観が大変良くなりました。懸案

発行所
山鹿市山鹿55
圓頓寺
☎43-2424

でした防草対策にも随分の効果がありました。

おかげさまで、墓地参拝の方々も気持ち良くお参りできるようになりました。

また、有縁無縁にかかわらず、多くの先達の靈魂が安心されたことでしょう。大きな功德であります。

作業に従事いただいた皆様方に感謝申し上げます。

特に多量の砂利採石を寄贈いただいた鹿子木勝彦様、運搬作業を奉仕下さった田中栄一様には改めて寄進への御礼を申し上げます。

法華経妙音品に「浄光莊嚴」という、仏国が登場します。仏様が宿られる場所は、浄らかで光に充ちた莊嚴であるという意味であります。

御題目修行の当山が「浄光莊嚴」の経文の如く、明

るく清らかな菩提寺たるよう、一人でも多くの皆様方とともに、信仰をもって、住職として新たな一年を歩んでいきたいと祈念申し上げます。再拝。

身延山回参のご案内

五月十二日(月)〜十五日(木)の日程で、日蓮宗の総本山であります山梨県「身延山」への団体参拝旅行を企画しております。詳細な日程は、初講法要時にお知らせ出来ればと準備中です。今回は久遠寺での朝勤参拝、奥の院「思親閣」参拝、靈跡寺院参拝、靈場「七面山」への登山参詣も計画に入れております。是非の機会であります。多くの方々に参加なさいませう、お願い申し上げます。

1

法華經と御遺文の学習

「此の語を説きたもう時、会中に比丘・比丘尼・優婆塞・優婆夷・五千人等あり。即ち座より起つて仏を礼して退きぬ。所以は何ん。此の輩は罪根深重に及び増上慢にして、未だ得ざるを得たりと謂えり。未だ証せざるを証せりと云えり。此の如き失あり。是を以て住せず。世尊默然として制止したまわず。」
『妙法蓮華經方便品第二』

大意は以下のようになります。

お釈迦さまが法華經をお説きになろうとされたとき、弟子信者の五千人は、そそくさと退座してしまつた。お釈迦さまは「この人たちは、過去世における罪障と



御会式で焼香する住職

現世における思い上がりによって、解つてもいないのに解つたと思ひ、悟つてもいないのに悟つたと勘違ひしている存在である。この様な欠点のために、法華經を聴くことができないのである。」と述べられた。そ

して、退座した者たちを制止することなく黙つて見送られたのであります。

この時のお釈迦さまの心中は如何様か。お釈迦さまの直々の御説法にさえ反発をする者たちが大勢いた。末法の現在では尚更でしょう。今生において、法華經にご縁があるということは、過去世における自身の修行の証であります。せつかく、ご縁を頂戴しておりますのに、今生の慢心、不信心の科により、前世からの積み重ねてきた善根功德を無駄にしてはいけなないのであります。

『妙一尼御前御返事』

「それ信心と申すは別にはこれなく候。妻の夫をおしむがごとく、夫の妻に命をすつるがごとく、親の子をすてざ

毎度ありがとうございます

米・肥料・農薬・たばこ
(全商品配達致します)

(有)あそしな米穀店

代表取締役 阿蘇品 和彦

☎ (0968) 43-2526

無料電話 0120-23-2526

山鹿市大宮町641-2

熊本日新聞

(有)熊日山鹿南販売センター

山鹿市大宮町439

阿蘇品 雅彦

社会福祉法人 大道福祉会

若葉保育園

理事長 阿蘇品 洋介
園長

御言葉になります。
 今この言葉で表すと以下の
 仏さまに対する信仰心と
 は、別に難しく考える必要
 はありません。例えば、夫

るがごとく、子の母にはなれ
 ざるがごとくに、法華経・
 釈迦・多宝・十方の諸仏菩
 薩・諸天善神等に信を入れ
 奉りて、南無妙法蓮華経と
 唱え奉つるを信心とは申し
 候なり、



荒神大祭で回向祈願する住職



護持会会長 栗原辰也
 謹んで新春のお慶びを申
 し上げます。

一致団結に感謝

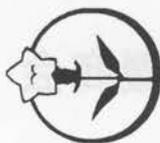
が妻をいたわるように、妻
 が夫を支えるように、親が
 子供を慈しむように、子供
 が親にしがみつくように、
 本来自然になすべきもので
 あります。法華経・釈迦・
 多宝・十方の諸仏菩薩・諸
 天善神等に対し、絶対の信
 を捧げ、御題目をお唱えさ
 えすればよいことです。こ

れが信心というものであり
 ます。
 この御遺文にて大切な教
 えは、諸仏諸天に絶対の信
 を持つことです。揺るぎ無
 い強く信じる心こそが、信
 仰心の根本です。信の根本
 なくして、信仰心はないの
 であります。

檀信徒の皆様方には、ご
 家族お揃いで良き新年をお
 迎えることと存じます。旧
 年中は菩提寺興隆に、ご芳
 志、ご支援を賜りまして誠
 にありがたく、衷心より感
 謝を申し上げます。
 昨年を顧みますと、年間
 六大法要を始め、恒例の寒
 修行・婦人会行事・信行会
 行事など各種行事等に、護

歴史と文化の街 日本一の装飾古墳と八千代座

山鹿温泉



清流荘

鹿門亭

〒861-0501 熊本県山鹿市下町1768
 電話 山鹿 (0968) 43-2101(代)
 ファックス (0968) 43-5153



しめ縄をなっています

持会、婦人会、信行会、当番の方々的一致結束、お互い支え合いの精神をもって、準備から後片付けまで手際良く賄われ、毎度感心いたしている次第です。ご苦勞様です。

また一方境内に目を向けますと、お盆前の合同大掃除で墓地の整地、防草シート上への採石入れ等を実施していただき、以前とは見違えるように清々しく、今後は除草の労力も大きく軽減されることと思えます。

先般の正月前の合同大掃除で、新年用の大小六本の「しめ縄ない」では、職人級の方々ばかりで、手際良く素晴らしい出来栄の「しめ縄」が出来上がり、今年も良き年回りに成ることと思えます。また境内の無縁仏様の草の刈り取りも立派に出来ました。皆様方のご苦勞に感謝いたしますと共に、今年もよろしくお願い申し上げます。

皆様方にお知らせいたします。一ページにありますとおり、今年は総本山「身延山・久遠寺」への団体参拝を計画いたしております。旅の行程は、五月十二日出発で久遠寺、七面山、焼津方面の三泊四日で計画しました。思えば平成二十二年秋の、菩提寺「日攝英人上人」の法燈住職継承の認証

和食亭

栄太郎

TEL0968-43-8080

山鹿市山鹿郵便局となり



マルカメ醤油・味噌
灯笼しょうじょう

山鹿市中1000-2
☎44-3131

建設業
砂利採取販売業
コンクリート二次製品製造販売

有限会社 阿蘇品組

代表取締役 阿蘇品 豊

山鹿市中483
電話(0968)44-7815

電気設備工事設計施工

有限会社 中原電機商会

熊本県山鹿市栄町298
電話(0968)43-2087

式以来となります。檀信徒の皆様方には何かとご多用とは存じますが、ご参加いただけたら幸に存じます。これから更に寒さ厳しい

巳年を振り返って

日々が続きます。皆様方には充分体調に注意されまして、元氣でお暮らしいただきますよう、ご祈念申し上げます。合掌

護持会会計 原 文雄



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

檀信徒の皆様方には、お健やかに新春をお迎えのこ

とと存じます。昨年とは異常気象で、気温三十五度以上の猛暑日が何

日も続き、雨も少なく、秋を短く感じました。私は農業をしています。農作物等は不作でありました。

台風の年間平均発生数は二十五・六個だそうですが、今年には十九年ぶりに三十個を超え、三十一個も発生し、上陸は二個でした。県内では台風による災害はありませんでした。台風三十号によるフィリピンの大災害は記憶に新しいところで、復旧も遅れているようです。他県でも大きな被害が発生



荒神大祭：子供も団扇太鼓でお迎え

し、新聞、テレビで報道されました。

そんな中、菩提寺の六大法要始め、信行会、寒修行、合同大掃除、婦人会行事等、いろいろな行事に努められ、ご協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。

護持会会計担当といたしまして、お檀家皆様方の会費納入にご理解をいただき、世話人様のご尽力に心から、

くつ・はきもの専門店



やまが中町商店街
☎(0968)43-2282

お食事処



HANAMIZAKA

山鹿市花見坂330~13 ☎44-6435



婦人会会長 瀬口ミス子
謹んで新年のお慶びを申
し上げ、檀信徒の皆様、婦

年頭のご挨拶

感謝申し上げます。本年も
何とぞよろしくお願い申し
上げます。
一月二十日の大寒を控え
寒さがますます厳しくなり
ますが、身体に十分気をつ
けられ、風邪などひかれな
いよう願っています。

一ページにありますとお
り、五月に総本山身延山
「久遠寺」の団体参拝が三
泊四日の日程で行われ、霊
場「七面山」への登山参詣
も予定されています。多く
の皆様のご参加をお願い
いたします。

合掌

人会の皆様、ご家族各位の
健勝をお祈り申し上げます。
圓頓寺の六大法要の「当番
地区」の皆様方には、お忙
しい中大変お世話になりま
して、心より御礼申し上げ
ます。
昨年十月十六・十七日の
二日間、九州教区檀信徒研
修道場が別府市で開催され、
九州各地から八十一名の檀
信徒が集い、私も参加いた

しました。
第一講は、瀧本光静上人
が『幸せをドラマチックに
得るコツ』と題し、お話が
ありました。仏教の教えは
生きている私たちに必要な
もの。仏教とは恩の学問と
いう、知恩、感恩、報恩の
三恩に心から感謝で生きて
いくと幸せに気づきます。
と説かれました。良いお話
をいただき、ありがたい気
持ちが一杯になり、御礼を
申し上げます。瀧本上人
は「故人に届けたい四十七
のメッセージ・最後に伝え
たかったこと」という文集
を発売したと紹介されまし
たので注文しました。後日
郵送されましたので、読み
始めたらいかに読んでしま
い、感動いたしました。
第二講は、上木奏徳上人
が『私を導いてくれた法華

 JA鹿本(株)鹿本広域福祉センター総合葬祭会館
やすらぎの里

天寿苑

〒861-0535 熊本県山鹿市南島1246(山鹿大橋そば)

TEL. 0968-44-0983

葬儀場・法事会館を併設した総合葬祭会館です

経の教え』と題し、夫であった先代住職が亡くなられ、自らが出家したのは法華経の指導きだ。とお話しされました。

夕食では懇親会が行われ、美味しい料理をいただき、ご参加の皆様と歓談いたしました。

二日目の第三講は、亀山環舜上人が、『命について考えてみました』と題し、私たちは感謝するために生まれてきたと、命の在り方を説かれました。

閉講式後、昭和三十六年の路面電車の事故で亡くなられた方々を供養する「お題目塔」へ移動し、全参加者で法要が営まれ、交通安全が祈念されました。

最後になりましたが、由緒ある村雲婦人会と称される圓頓寺婦人会も、高齢化



荒神大祭：婦人会、当番地区の方々

が進み、会員も少なくなってきました。是非婦人会に加入していただきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

本年も今まで同様にご指導、ご協力、ご支援をいただき、ますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

南無妙法蓮華経

【参考：日蓮宗新聞「全国の通信記事（首藤泰隆通信員）」】

信行会からのご挨拶

信行会会長 木下美枝子



謹んで午年の新春のお慶びを申し上げます。圓頓寺族の皆様、檀信徒の皆様

の幸多き年でありますようにお祈りいたします。昨年

七月のお盆を済ませるとすぐ二十二日には「施餓鬼法要」があります。年一回供養の卒塔婆を建てます。八月二十六、二十七日には、本妙寺で管区の研修でした。身近におられるいつものお上人の御教示を受けました。九月は婦人会行事ですが、「龍の口法難会」で、十月九日は、東島さんが報告されています。熊本県立劇場で「第四十四回日蓮宗熊本県護法大会」に参加しました。圓頓寺も年毎に参加者が少なくなっています。会場も空席が多く、勿体ない思いがいたします。今年の護法大会は城北地区が担当で、山鹿の八千代座とか？頑張らなくてはなりません。

十月十六・十七日には、瀬口婦人会会長の年頭のご挨拶にあります。「九州教区檀信徒研修道場」が別府市で開かれました。婦人会・信行会のいつものメンバーで参加、勉強させていただきました。一度参加し学ばせていただくと必ず、「アー良かった。また来年も参加しよう。」と思っておりますので、同じメンバーになります。何でも知っています。分かっておられるかも知れませんが、目からウロコのことがあります。是非一緒に参りましょう。学びの場へのご参加をお待ちします。

十二月八日は「荒神大祭」、この日はお焚き上げでもあります。一年間お守りいただいたお札をお焚き上げいただき、新しいお札をいただきます。家におまつりいたします。

十四日にはお寺の内外の大掃除としめ縄作り。本堂・檀信徒会館・鐘楼堂と梵鐘・墓地・納骨堂・厨房・参道を清掃し、本堂の前で新しいワラをたたいて柔らかくして、手で作ってしめ縄を作り、本堂・檀信徒会館・山門・水行場などに力作を飾られました。

三十一日の除夜の鐘をつき、一年を締めくりたいと



荒神大祭：お焚き上げ

思います。

新しい年を迎えます。私事ですが年毎に身体の動きが悪くなり、忘れることが特に多くなりました。歳も大台に登ります。自重しながら：と思っております。どうぞよろしくお導き下さい。

南無妙法蓮華經

お題目と共にまきる

信行会 西川信子

『南無妙法蓮華經、南無妙法蓮華經：』私は毎朝、団扇太鼓を叩きながらお経をあげて、お参りしております。お題目のおかげで生かされております。

実は、私の左の薬指の上に四角のアザがあります。西川家は、ペルーで生活していました。長姉の次に兄と

アシスト
ASSIST

株式会社 アシスト ニッセイ同和損保(株)・日本生命・大同生命(株) 代理店

〒862-0963 熊本市南区出仲間9丁目5-10.4F Tel.096-214-4771

Fax.096-214-4773 携帯090-2715-2274 <http://www.assist-kumamoto.jp>

なる男の子が生まれたが二週間で亡くなったそうで、父母は大そう落胆して、一生懸命お題目を唱えました。名前は経信、大正十三年十二月十六日死亡とあります。もし又子供が授かるならと、お上人様に、左腕にお題目を書いていただいて、願って生まれてきた私。昭和二年十二月二十三日生まれで、四角のアザが出来ておりました。名前は亡くなった兄



西川さん(左) 前坊守さん(右)

の名前の一字を取って『信子』です。両親はお題目を信じ、一生懸命頑張って働いたそうです。おかげで運が良くなり、お店をもつようになり、それから十年位して昭和十二年三月、日本に帰りました。桜の花がとっても綺麗でした。一家が故郷の三玉に着いたら出られないから、東京見物をいたしました。とても珍しくて綺麗でした。エスカレーターが次々出てくるのでビックリしました。両親は三玉に帰ってから大変でした。田・畑・山を買い、家を建てました。ペルーでした。働きついで来たのです。でも良いことばかりではありません。三玉に帰ったその年は永雨で、麦が腐って採れなかった。両親は又ペルー

に行くと言いますが、私は別れて暮らすのはイヤでした。今度は三年ばかりで帰ると言うけど、大人がいない世界は大変でした。昭和十五年四月姉が結婚し、西川家を姉が継ぎました。昭和十六年四月長女由紀子誕生、同年十二月大東亜戦争。昭和十七年十一月姉死亡。昭和十八年三月姉の主人と私結婚。昭和十九年八月主人出征。このように色々大変なことばかりですけど、何も出来ない私ですが、お題目で生まれ、今後もお題目と共に生きてゆきますので、皆様よろしくお願ひいたします。南無妙法蓮華經



印刷 盛文社 有限会社

山鹿市下町1807
TEL 0968-43-2604
FAX 0968-43-6075

生活環境に、やさしい企業

水廻りの事ならすべてOK!

TORAYA  SHOKAI

合資会社 **とらや商会**

TEL(0968) 43-2212 FAX(0968) 44-5990

〒861-0532 熊本県山鹿市鹿校通一丁目3番29号

第四十回護法大会

いのちに合掌

信行会世話人 東島 広子



第四十回日蓮宗熊本県護法大会が十月九日（水）、多くの檀信徒が一堂に会し、熊本県立劇場で開催され、圓頓寺から英人上人、瀬口婦人会長、木下信行会長始め十名が参加いたしました。強い台風二十四号が九州北部に接近という情報が、前日からテレビなどで流れていましたので、中止になる

のではないかと心配しておりましたが、祈りが通じたのでしよう秋晴れの良い天気に恵まれました。英人上人は法要にご出仕のため早く熊本へ行かれました。お寺に七名が集合。ジャンボタクシーで出発。県立劇場で二名合流し、檀信徒九名が揃いました。

護法大会は、「いのちに合掌」のスローガンのもと、寺院婦人会の日蓮宗宗歌「立ち渡る」等の法華和讃



やコーラスで始まり、県内ご寺院のお上人様多数のご出仕により報恩法要・修法法要が厳かに行われ、読経三昧の中散華も美しくありました。

休憩が十五分とられた後、阿蘇にこだわり、阿蘇に生き続ける「ピエント」という二人組のコンサートがあり、素晴らしい演奏に全参加者は安らぎの世界に浸り、心を癒されていきました。

今年の護法大会は、城北地区大会で地元の「八千代座」で予定されていると、渡辺上人様が発表されましたら、皆様から拍手が起り、どよめきがあり、おひらきとなり、心が満ち足りありがたい気持ちで、県立劇場を後にしました。

合掌



拝む心で尊い品を

梅谷佛具店



仏壇・仏具・寺院用具
寺院納骨堂設計施工

本店

〒812-0027 福岡市博多区下川端町10-9
TEL (092)271-0456・FAX (092)271-0464

支店

〒819-0373 福岡市西区周船寺3-9-4
TEL (092)806-7499・FAX (092)807-1079

◆E-mail umetani@umetani-jp.com

◆HP <http://www.umeyani-jp.com>

日蓮大聖人御会式法要

心に響く法話に思う

南関町四ツ原 上田 清則



上田清則さん(右)と父常人さん

十月十三日、御会式法要参加のためお寺に参拝した私に、お上人より「今日の法話の感想文を書いていただきたい」との依頼がありました。私には何分学もななく戸惑いましたが、お上人

の言葉、断ることもできませんでした。言うまでもなく、村井信隆僧正の法話に真剣に耳を傾けました。

法話の中で、日蓮大聖人が亡くなられた時の状況説明がありました。十月十三日だというのに桜が満開になり、地震があつたそうです。その話を聞いた時私の心に日蓮大聖人は、地湧の菩薩様だったのだとの思いがしました。

本日の法話を伺いながら、頭に浮かんできた私の体験を少し述べさせてください。私は今から四年前の十一月二十一日、今でもはっきり覚えています。自宅の仏壇にお参りしていた時



村井上人の法話

です。突然の耳鳴りに襲われました。その耳鳴りは特にひどく頭痛も伴いました。私は気が狂いそうになりました。辛い毎日でした。私は一生懸命拝みました。そして約一ヶ月後の日曜日の朝のことです。耳鳴りがしません。私はすぐに仏壇に手を合わせました。その時、仏壇の日蓮大聖人が『良かったね』と仰せられたの

航空券・JR・個人旅行・団体旅行

株式会社 **ワールド観光**

TEL 0968-72-5656

玉名市中尾426-3

です。私は涙が止まりませんでした。しかし、それもつかの間、徐々に耳鳴りがしてまいりました。私は原因については霊障害だと感じていました。病院での検査も異常ないからです。これからまた、迫りくる耳鳴りの苦痛と恐怖とに戦っていかねばならないかと思うと、耐えられませんでした。ふと思いついて、早朝から水をかぶることにいたしました。母から、おまえが水の行を始めたのは、一月二十日寒の入りからだと言ってくれました。昨年一月二十日で三年が過ぎました。今も続けております。



村井上人の法話を聴く参詣者

だから施餓鬼供養が待ち遠しくてなりません。七回目の施餓鬼供養が終わった後、お上人から『後は自分でやっていきなさい』と言われました。水行の作法もお上人に教えていただき、自分で供養するようになりました。

水行を続けていくうちに仏の教えといえますか、ふと思ひ(言葉)が聞こえるようになりました。例え、暮れのお寺の大掃除の時です。合理的に除草剤を撒いたらとの話を耳にすると、「お寺の掃除をしているのではない、わが心の清掃をしているのだ」との思い、声が聞こえてくるのです。また、近くの神社の掃き掃除をしている時です。せっかく掃除した後、秋風でまた枯葉が落ちてまいります。その時です。舞い散る落ち葉を楽しく追いかけてまわし、はしゃぐ子供の情景が浮かび、顔が和んだのです。今では、耳鳴りも時々になり、気にならなくなりました。しかし、私の中の仏の声も聞こえなくなっています。そのことに最近気づいていました。水の行も、ただやればよいという考えで行っても何にもならないと思



郷土に生まれて味ひとすじ



仏・祝会席・鉢盛・寿司

プラザ店 ☎ 44-4743 ☎ 43-1739
 中町店 ☎ 44-0055
 仕出部 ☎ 44-5804

っておりました。このままではだめだ。何とかしなくてはと考え始めていた時、今回の感想文の機会を与えていただいたこと、また、法話のおかげですべての出来事、すべての人の言葉を仏の教えと受け止め、努力していかなければならないのだと、真剣に考えさせられました。また、それをひとつでも実践していこうという気持ち湧いてまいりました。本当に心に響く法話をいただきありがとうございます。感謝の気持ち一杯です。

私の定年退官の日の挨拶で、『これからは様々な出来事に出会うかと思いますが、すべてを神事と受け止めてありがたく生きて参ります。』と話したことが、昨日のことのように思われます。



山鹿城主一族を供養する檀信徒

法話終了後、日蓮大聖人入滅七三二年遠忌報恩法要と、旧山鹿城主・山鹿重安公や一族の位牌もご開帳され、供養法要も営まれ、参詣者全員で焼香をいたしました。

南無妙法蓮華經

質問箱・その八

枕飾り・枕経・喪主

入院していたお父さんが亡くなったQさん。始めて何も分からず、住職にいろいろと教えてもらっています。前回の「その七」で枕経・末期の水・遺体を清める湯かんなどについて教えてもらい、お父さんが生前よく着ていた服を探し、お父さんに着せました。

Qさん

この服は気にいってよく着ていました。

住職

月回向に伺うと、この服を着ておられた姿が思い出されます。

Qさん

ロウソクや線香などはどうしたらいいでしょうか。

住職

大牟田本店

大牟田市上野2丁目2 上宮通り
☎0944-56-3675

熊本店

熊本市中央区上水前寺1-12
-12 (東バイパス熊工前)
☎096-384-5666

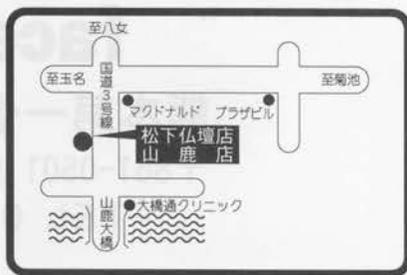
玉名店

玉名市中平畑1832 玉名高校入口
☎09687-4-4840

山鹿店

山鹿市大橋通り404
☎0968-43-5665

●仏具のご注文がございましたら、多少にかかわらず配達いたします



株式会社 松下仏壇店

ご遺体は北枕に安置します。この日限りという願いを込めて、故人の枕元に屏風を逆さにした「逆さ屏風」を置き、仏具を置いた机などを並べ、「枕飾り」をします。

Qさん

屏風はありませんが。

住職

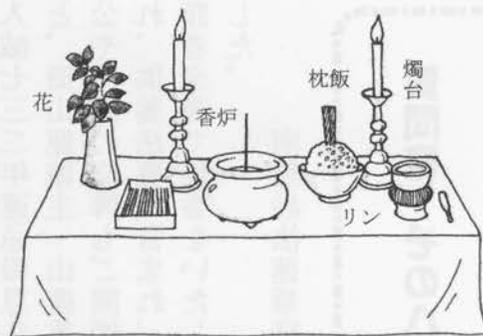
屏風が無かったら、枕飾りだけでもいいでしょう。低い机に白い布を掛け、その上に三具足（香炉、花瓶、ろうソクたて）を配置し、灯明をともし、香をたき、花瓶には一本花を飾ります。

Qさん

ろうソク、線香、花だけでいいのでしょうか。

住職

いえ、他に水、枕飯なども置きます。枕飯は故人が生前使っていたお茶碗にご



枕飾り（三具足、枕飯、リン）

飯を山盛りにし、はしを真ん中に垂直に立てた一膳飯です。このはしは亡き人がはしを持ちあげる手間を省いた、ご遺族の気持ちの表れです。地方によっては、お団子を供えるところもあります。

Qさん

早速ご飯を炊いてもらいます。他に用意するものは

ありませんか。

住職

故人の枕頭には大曼荼羅本尊を掛けます。枕飾りの机にはリンや木柁も置きましょう。

Qさん

香炉、花瓶、ろうソクたて、大曼荼羅本尊、リン、木柁は仏壇にありますので、枕飾りとして準備します。

住職

ご遺体が清められたら、順序として「枕経」をおあげします。枕経は電話でお話したとおり、ご遺体の枕元で僧侶が読経することで、読経の目的は生前の罪障を消滅し、霊山浄土での成仏を祈ることにあります。お経は、日常のおつとめに追善回向文を加えたもので

Qさん

この街と生きていく face to face

熊本第一信用金庫 山鹿支店

〒861-0501 熊本県山鹿市山鹿1616-7

TEL 0968-44-4125

枕経ありがとうございました。少し時間がたちますが遺体は大丈夫でしょうか。

住職

枕経が終わったら、葬儀社の方がすぐ死装束に替え、棺にご遺体を納め、手を合唱して念珠かけ、ドライアイスを入れます。

Qさん

死装束というものもあるのですか。

住職

死装束には、「死出の旅立ち」の意味があり、古来、仏国浄土への往生の旅に出るといふ思想の影響で、亡くなった人に経帷子、三角頭巾、手甲、脚絆や足袋などを着せ、頭陀袋をかける風習が出てきたと言われています。

Qさん

本日は枕経をありがとうございました

ございました。故人をおくるしきたりもよく分かりました。お通夜はどうしたらいいでしょうか。

住職

お通夜とは、夜を徹することからきた言葉で、夜通し亡くなった人を見守り、霊山浄土での成仏を祈り続けます。亡くなられた日の夜を仮通夜とし、翌日の夜を通夜としますが、仮通夜を省略する場合があります。

Qさん

家族と近くにいる兄弟・親族は今来ていますが、東京・大阪にいる弟は明日帰ってきますので、今日は仮通夜をし、明日斎場でお通夜をいたします。よろしくお願いたします。

住職

ご愁傷さまでした。明日また斎場で、心をこめてお

通夜をつとめさせていただきます。

葬儀社

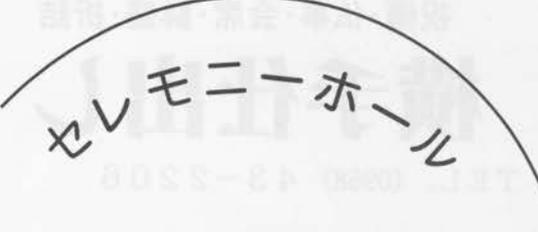
喪主を誰がお務めになるか、遺影に使う写真も相談して準備しておいて下さい。お取り込みで大変でしょうが、通夜・会葬御礼を何通準備したらいいかも考えておいて下さい。いただいた死亡診断書は明日市役所に提出いたします。

Qさん

そうですね、喪主を決めて、父の写真もいりますね。通夜・葬儀に何名来てくれるかなー？ 家族・兄弟・親族と相談しておきます。

(つづく)

全国日蓮宗青年会監修
「日蓮宗のしきたりと心得」参照



宮川葬祭 TEL (0968) 43-2211
フリーダイヤル 0120-45-0948

山鹿
天龍会館

TEL (0968) 44-0444



田中上人の法話を聴く檀信徒



孟蘭盆会法要田中上人の法話

行事スナップ



第40回護法大会



ほうろくで灸で頭痛封じ



お題目から、
はじまる。

ビル新築工事から増改築まで何でも致します
住宅金融公庫其の他手続代行

有限会社 井上組

井上 勝 介

熊本県山鹿市下吉田691番地

TEL. 43-2204

朝日新聞

山鹿専売所

山鹿市上広町344の7

☎43-2664

藤本 俊 範

大小宴会・会食

横手会館

山鹿市九日町(八千代座前)

祝儀・仏事・会席・鉢盛・折詰

横手仕出し

TEL. (0968) 43-2206

割烹よこて

肥後銀行前 TEL. 43-7500

お寺の行事

一月十三日(月)

日蓮大聖人報恩
午前十時

初講法要

宗祖日蓮大聖人の正月の初御命日に講をおこして、御入滅をしのび、報恩のお祈りをささげる聖日です。

二月三日(月) 午前十時

開運
節分析禱会

除災招福・星祭祈禱

一月二十日

九日間・夜七時
日蓮大聖人報恩

大寒・寒修行

毎夜七時から山鹿市内を巡回します。お上人と共に修行しましょう。出来ない方はご供養しましょう。

二月十六日(日) 午前十時

宗祖降誕会

御誕生をお祝する日

三月二十八日(金) 午前十時

鬼子母神祭

彼岸会法要

百日間の大荒行を成満した、荒行僧の秘法除災除厄祈禱が行われます。

五月三日(祝日) 午前十時

立教開宗会

大黒天まつり

六月二十三日 午前十時

清正公・頓写会

御入滅を偲ぶ日

発行所

山鹿城趾
湯の町てら

常明山 圓頓寺

熊本県山鹿市山鹿温泉五

☎ 四三二二四二四代

☎ 四四一五一〇〇

FAX・四三二七二八

電子メール: a0115@orange.ocn.ne.jp

ホームページ: www.entonji.jp

非売品

編集・圓頓寺たより編集委員会

印刷所

山鹿市下町一八〇七

有限会社

盛文社印刷

☎ 四三二二六〇四

FAX・四三一六〇七五

メール: info-seibunsya@hyper.ocn.ne.jp